

株式会社デジタルガレージ
2011年6月期 第2四半期 決算説明会

2011.2.10



Digital Garage

目次

□ ミッション&ビジネスモデル	3
□ グループ業績レビュー	6
□ 2011年6月期 第2四半期事業セグメント別レビュー	14

ミッション & ビジネスモデル





Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future

を結ぶ

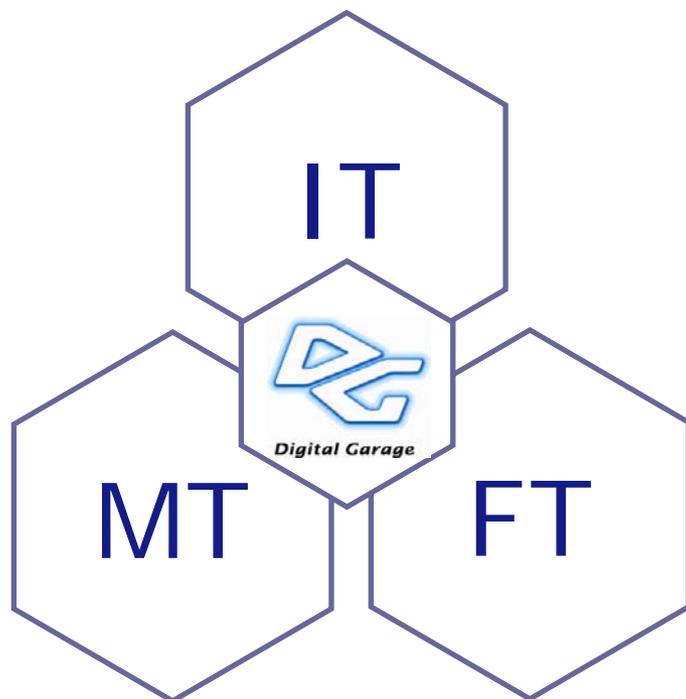
Context Company

として

インターネット時代における
新しい日本の
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

日本のインターネットビジネスを

IT/MT/FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



★ Information Technology

★ Marketing Technology

★ Financial Technology

グループ業績レビュー



Social Media 事業へのシフト

～ 好調に推移するHybrid Solutionを土台に、Social Mediaの育成を急ぐ ～

I 全社業績は、計画を上回る進捗

- ・ B向けソリューション事業と決済事業の構造転換が進み業績好調
- ・ 投資事業でもキャピタルゲインを実現

II メディアパワーの増大と、マネタイズに向けた取り組みの進展

- ・ Twitterの国内利用者は、1,200万UU超と成長(ネットレイティングス社調べ)
- ・ サイトリニューアルに伴い、広告販売枠が一時的に減少
- ・ 電子書籍事業への参入に伴い、モバイル事業群の再編を実施。
アンドロイドマーケット拡大に向けたスマートフォン新規事業を準備中

III 次なるソーシャルメディアの取り組み強化

- ・ 新たなソーシャルメディアに対する出資／業務提携を実施  hootsuite  Path
- ・ Social Media準備室で“ビジネスSNS”等の新規事業を検討中

(単位:百万円)	10.6/2Q累計	11.6/2Q累計			予想比(金額)		前年同期比
	(実績)	(期初予想)	(12/27予想)	(実績)	(期初予想)	(12/27予想)	(金額)
売上高	3,854	4,500	4,950	4,983	+483	+33	+1,128
営業利益	△443	△490	△240	△181	+308	+58	+ 262
経常利益	△261	△205	170	213	+418	+43	+ 475
当期純利益	△247	△230	130	158	+388	+28	+ 405

<2011.6期 第2四半期累計期間>

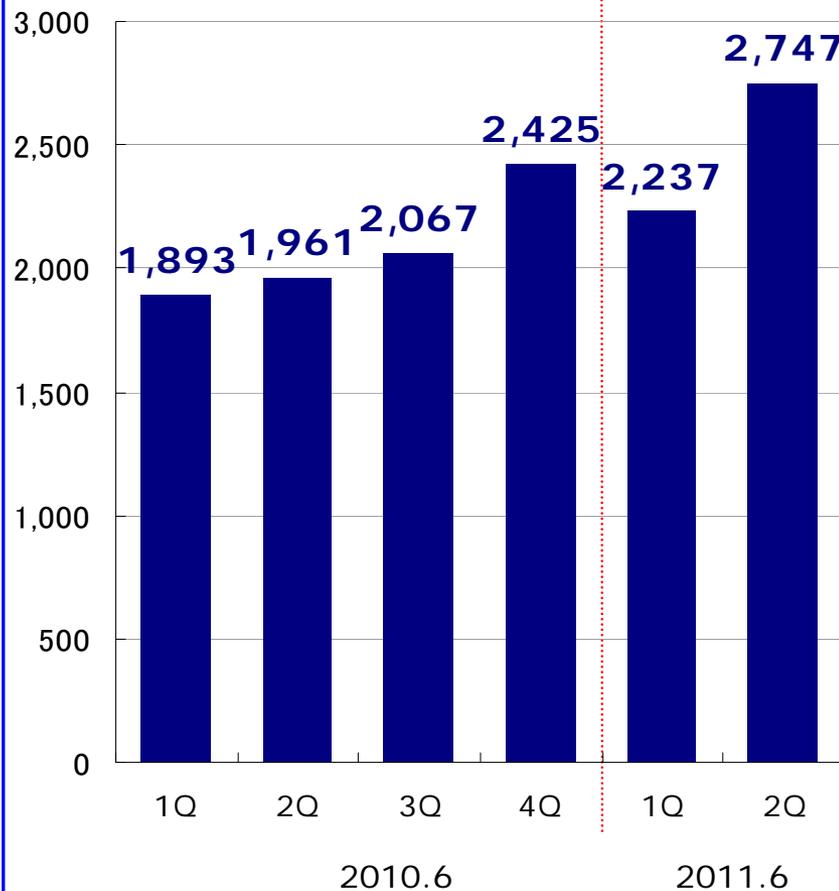
～ 1Qに経常利益の黒字化、2Qに営業利益の黒字化を実現 ～

- 売上高は前年同期比29.3%の増収、営業利益は同262百万円の増益。
- 経常利益は営業外収益にカカコム他の持分法投資利益413百万円を計上、前年同期の△261百万円から213百万円と475百万円の増益。
- 四半期純利益は、同△247百万円から158百万円と405百万円の増益。

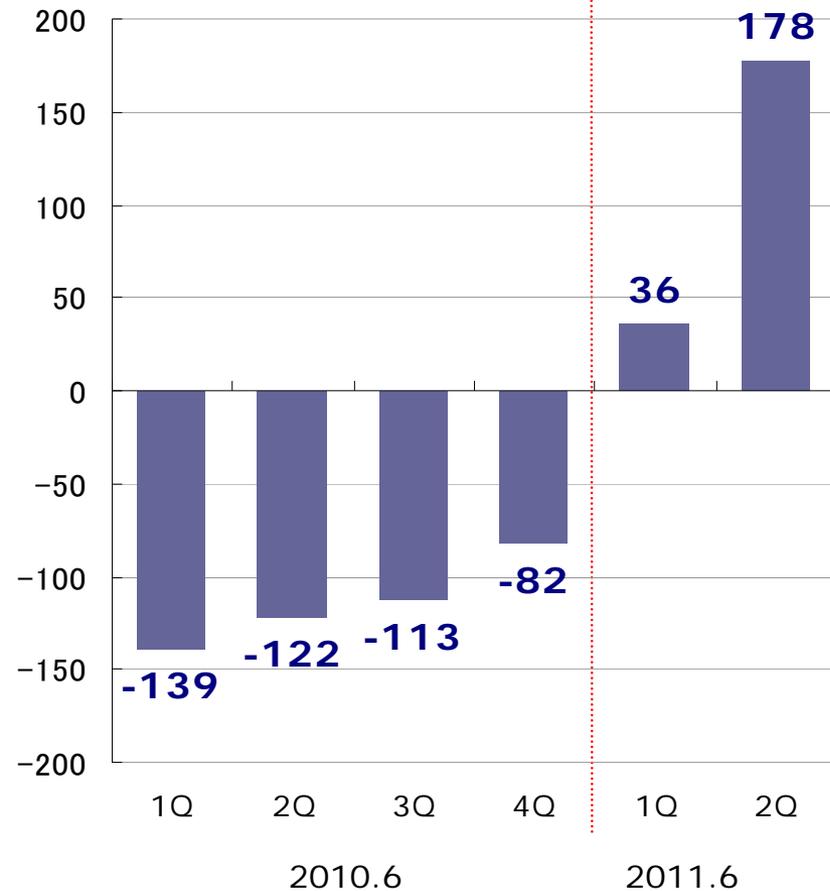
四半期別（連結）

(単位:百万円)

【売上高】



【経常利益】



(単位:百万円)	2010.6期 2Q累計	2011.6期 2Q累計	前年同期比 (金額)
(ハイブリッド・ソリューション セグメント)			
売上高	3,503	4,389	+885
営業利益	84	298	+214
(メディア・インキュベーション セグメント)			
売上高	343	353	+9
営業利益	△74	△120	△45
(ベンチャー・インキュベーション セグメント)			
売上高	7	240	+232
営業利益	△54	146	+200

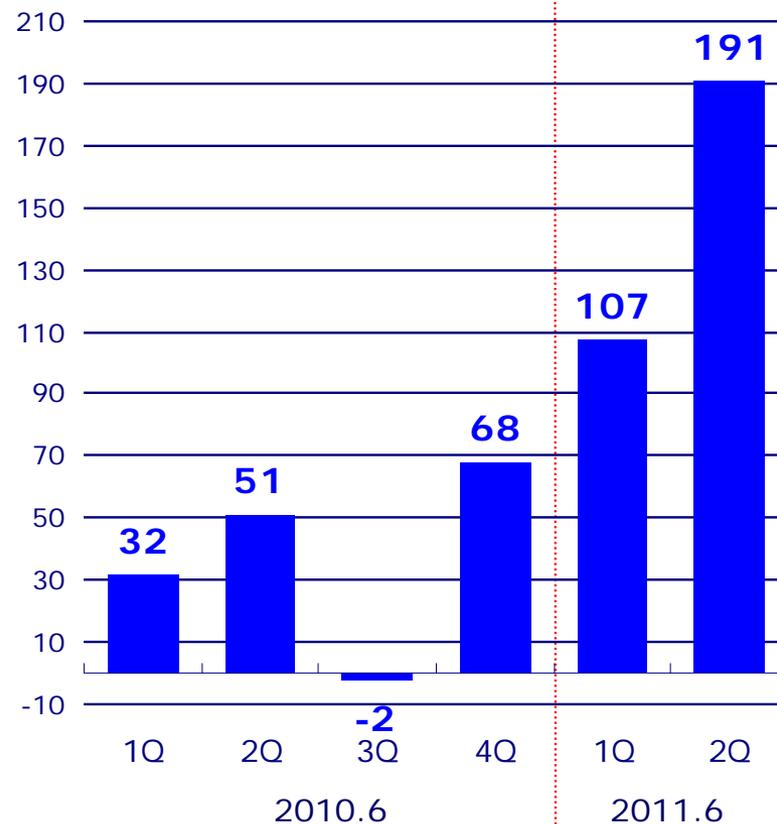
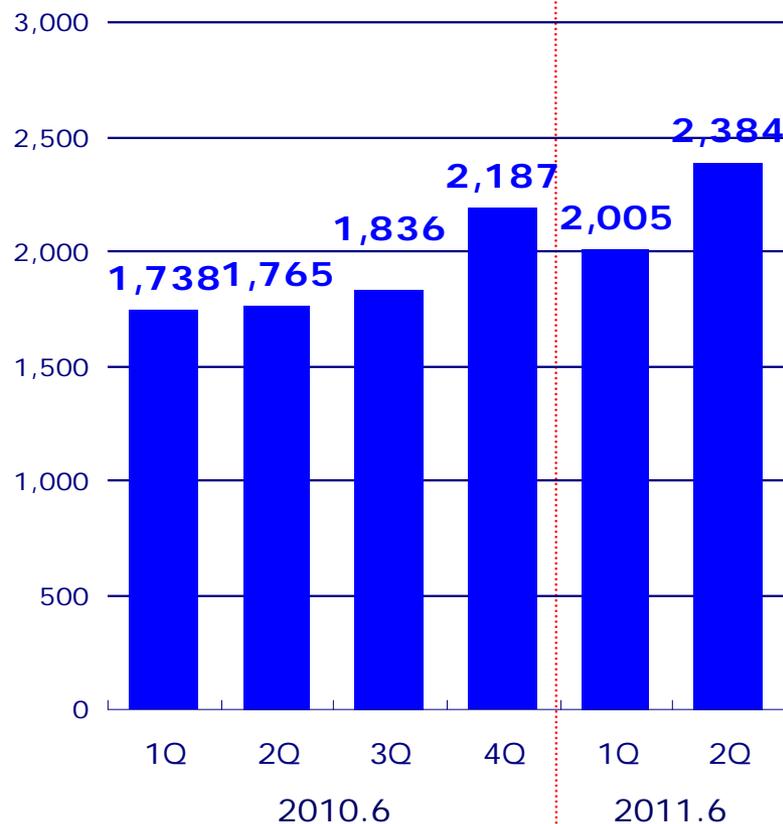
※セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース

ハイブリッド・ソリューション セグメント

(単位:百万円)

【売上高】

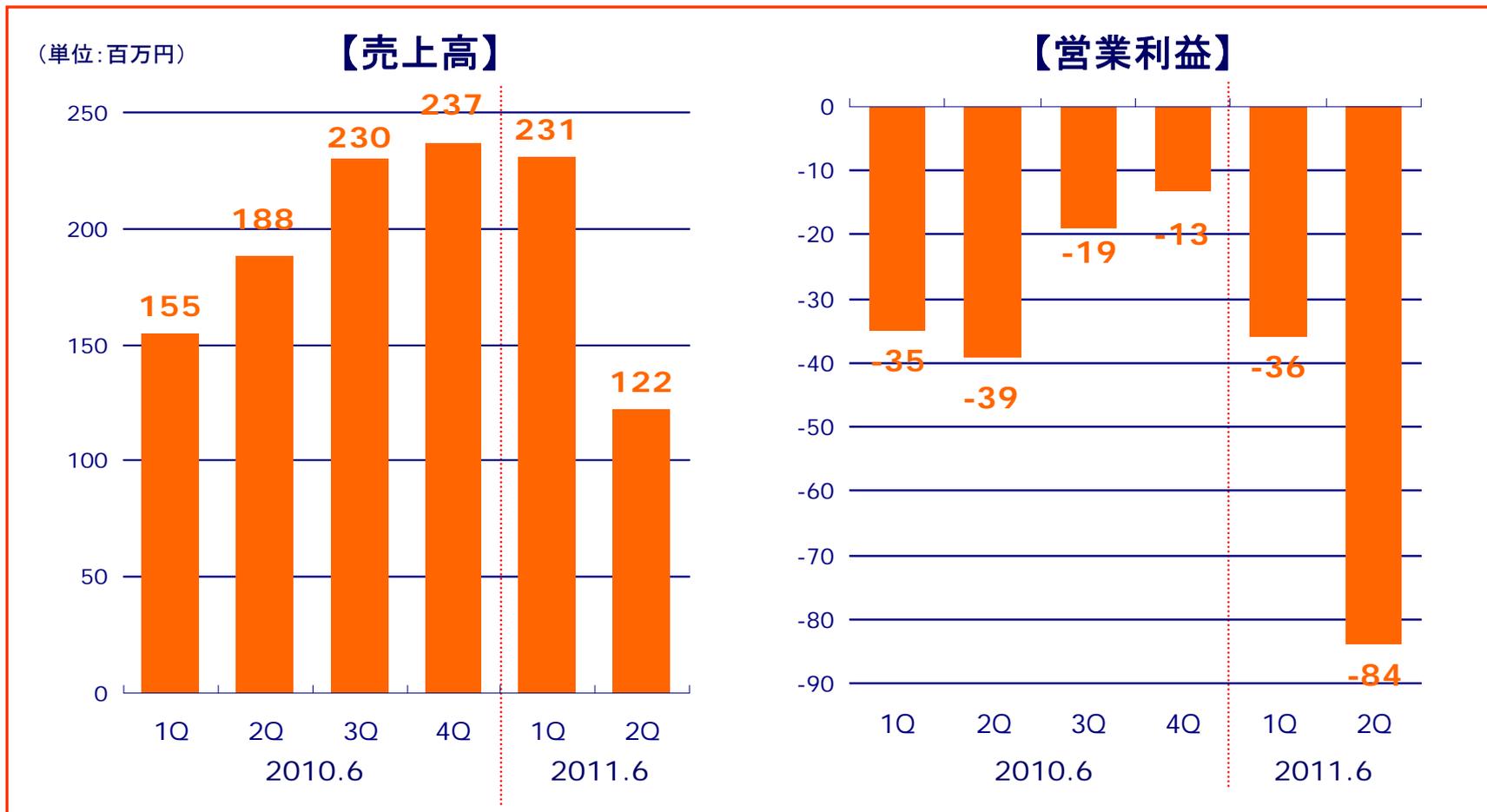
【営業利益】



■ 業績レビュー

- ・ソリューション事業においては、収穫逦増ビジネスのアドオンが進み収益規模が拡大
- ・決済事業においては、既存決済ビジネスの伸張に加え、安心支払い 事業が開始

メディア・インキュベーション セグメント



■ 業績レビュー

- ・電子書籍事業への参入に伴い、モバイル事業群の再編を実施。既存コンテンツ配信事業を3Qに中止予定。アンドロイドマーケット拡大に向けたスマートフォン新規事業を準備中
- ・Twitterリニューアルにともない広告販売枠が一時的に減少

(単位:百万円)	10.6期末 (実績)	11.6期2Q期末 (実績)	前期末比 (金額)
流動資産	14,208	14,220	+11
うち現預金	4,799	5,055	+255
うち未収入金	3,413	4,000	+587
金銭の信託	3,155	2,253	△902
固定資産	5,497	5,813	+316
資産合計	19,706	20,034	+327
流動負債	9,941	10,283	+342
固定負債	935	753	△181
うち預り金	5,743	6,687	+944
うち有利子負債	3,479	3,069	△410
純資産	8,829	8,997	+167
負債・純資産合計	19,706	20,034	+327

※決済事業に関連する勘定科目

「未収入金」
コンビニ、カード会社等から
未収入金の収納代金
(平均入金サイト約2週間)

「金銭の信託」
収納代金の信託保全を実施

「預り金」
EC事業者に支払をするまで
一時的に預かる収納代金

(単位:百万円)	10.6期	11.6/2Q累計		11.6期	前期比
	(実績)	(期初予想)	(実績)	(期初予想)	(金額)
売上高	8,346	4,500	4,983	10,600	+2,254
営業利益	△960	△490	△181	△250	+710
経常利益	△457	△205	213	500	+957
当期純利益	△2,207	△230	158	310	+2,517

<通期業績見込み>

～ 第2四半期累計期間上方修正も通期見通しを据え置く ～

- 第2四半期累計期間は、期初予想を上回る実績
- ハイブリッド・ソリューション事業は、引き続き好調に推移することを見込む
- メディア・インキュベーション事業は、Twitterのマネタイズ回復と新規事業の創業赤字の予想値を共に精査中
- ベンチャー・インキュベーション事業は、海外未公開株マーケットが活況なため、通期でも成果の実現を目指す

2011年6月期 第2四半期
事業セグメント別レビュー



【グループ事業セグメント】

I ベンチャー・インキュベーションセグメント

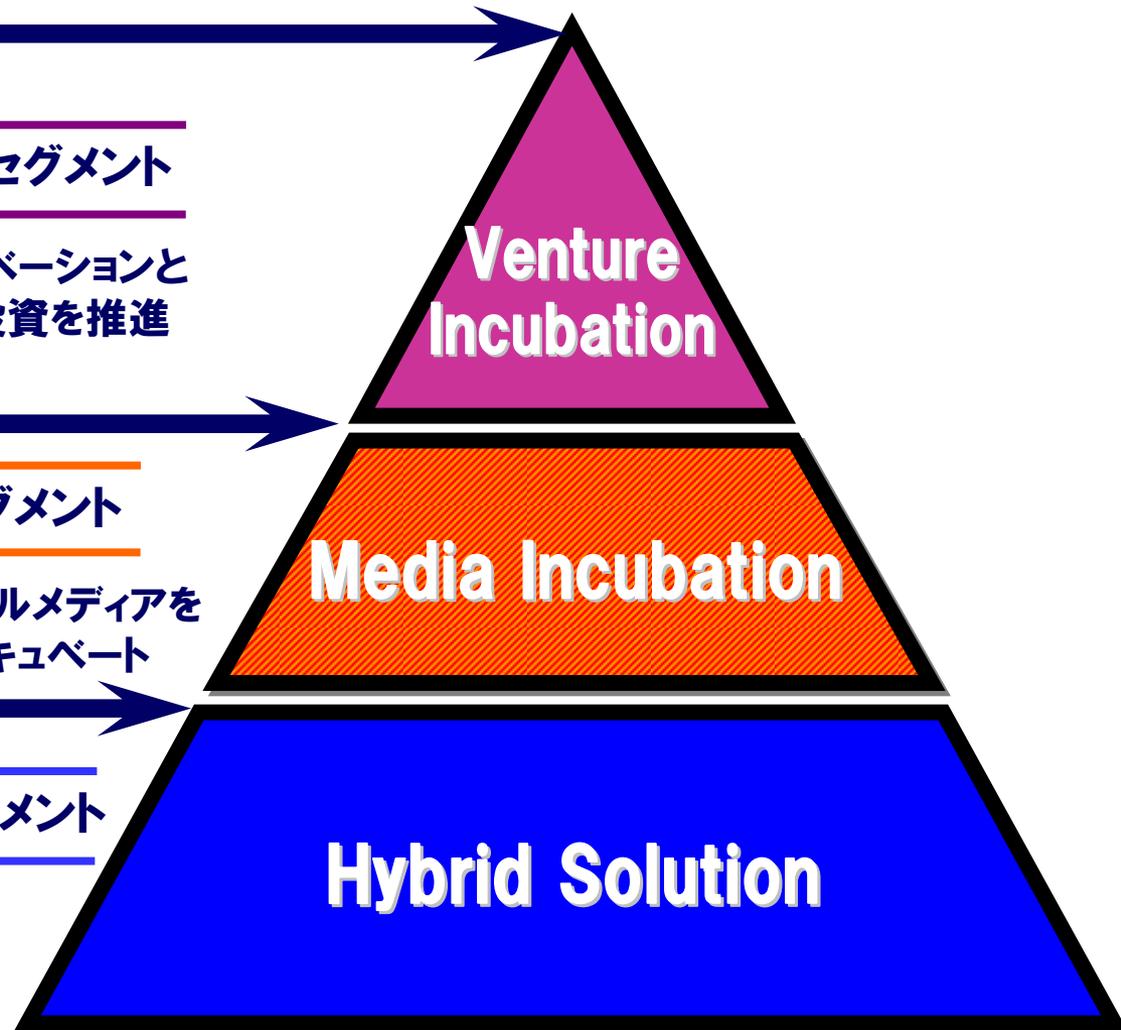
- シリコンバレー型のハンズオンインキュベーションと日本発の起業支援プログラムや国内投資を推進

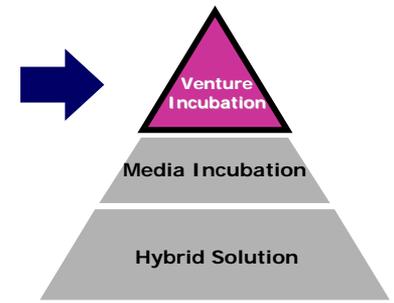
II メディア・インキュベーションセグメント

- Twitter/Twinaviをはじめソーシャルメディアを中心に メディア/アプリビジネスをインキュベート

III ハイブリッド・ソリューションセグメント

- 「Hybrid Solution」として、決済とソリューションを融合





I

ベンチャー・インキュベーション事業セグメント

➤ 株式会社DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資・育成等インキュベーション事業



DG INCUBATION



Strategic Partners
Building the ecosystem for mutual success

➤ オープンネットワークラボ

インターネットビジネスの起業を志すエンジニアの育成プログラム



Open Network Lab

Open Network Lab

～日本のスタートアップを世界へ～

I ベンチャー・インキュベーション事業セグメント

➡ 国内外におけるソーシャルメディア時代の事業支援型投資拡大

【DGインキュベーション】

- ◆ シリコンバレー、シンガポールを中心とした著名投資家との連携を強化し、Twitterに続く、新たなソーシャルメディアに対する投資と、その日本市場に向けたローカライズ支援を継続的に実施。

【DGストラテジックパートナーズ】

- ◆ 電子書籍マーケットの本格化に合わせ、コンテンツ配信を行う株式会社メディアドウに資本参加。ソーシャルメディアを活用した事業支援を実施予定。

【オープンネットワークラボ】

- ◆ 日本発グローバルに通用する事業を志す起業家を支援する、「Seed Accelerator」の第二期を募集。国内外から第一期を上回るエントリーがあり現在4チームを選抜し、4月の成果発表に向けた支援を実施。

〈連結対象企業〉

〈設立/子会社化〉

〈出資比率〉

〈特徴〉

- | | | | |
|-------------------|-------------|------|---------------|
| ➤ DGインキュベーション | 09. 6/09. 6 | 100% | 海外投資と国内での事業育成 |
| ➤ DGストラテジックパートナーズ | 10.10/10.10 | 100% | 国内投資 |

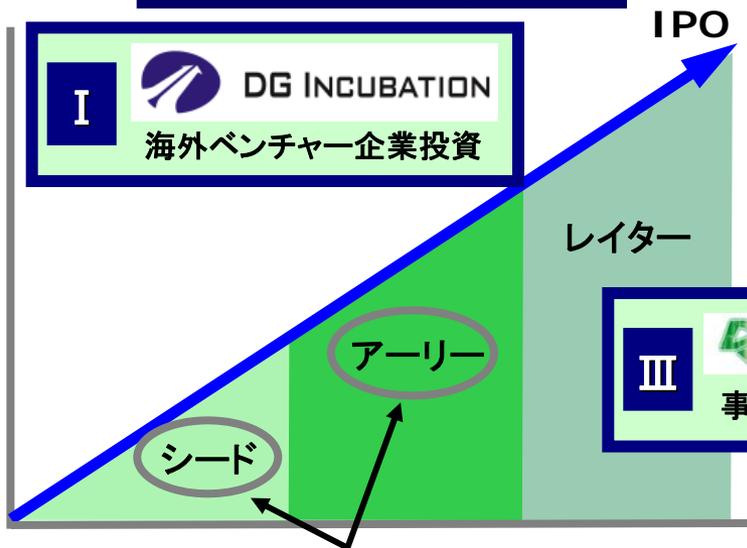
シリコンバレー中心の海外VCに加えて、日本発のグローバルスタンダードの創生

インターネットビジネスのインポート&エクスポート
Real time WEB 時代の新たなベンチャー・インキュベーション

米国発 Social ~ real time WEB
- From Silicon Valley -

- ◆ シリコンバレー中心に事業型投資に注力
- ◆ 海外企業投資と国内ローカライズ

インポートモデル

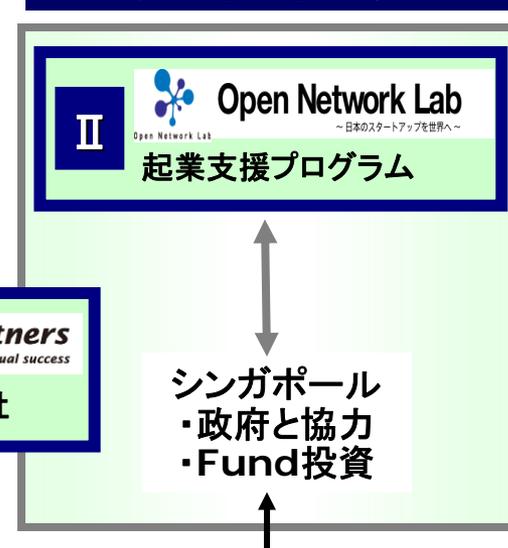


米国中心のVC投資と国内展開支援

日本発 Global standard
- From Tokyo, JAPAN -

- ◆ ON Labの開設で国内ベンチャーの創出支援
- ◆ シンガポール政府/Fundとの連携

エクスポートモデル



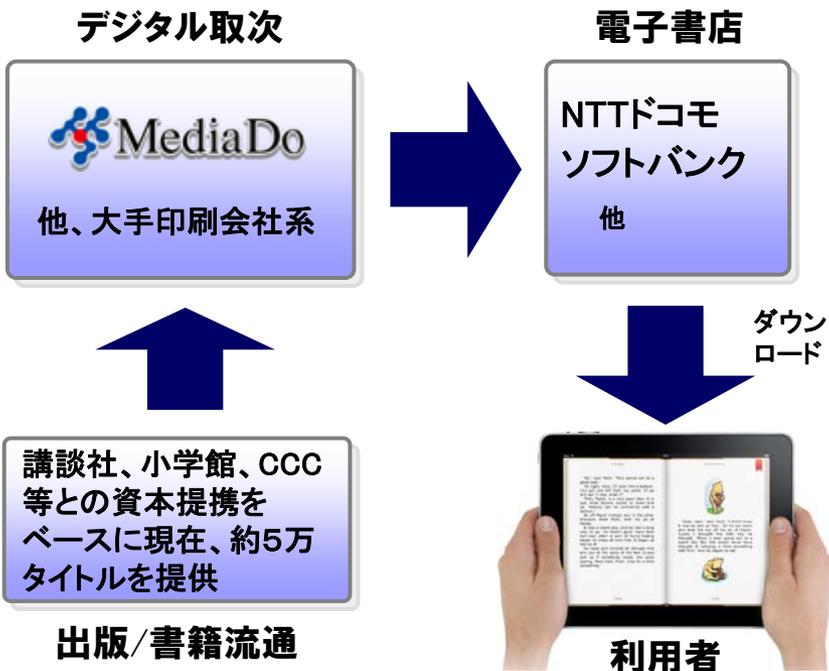
国内起業支援と海外展開支援



- 電子書籍事業でのメインプレーヤーである当社に外部筆頭として事業参画(約15%)

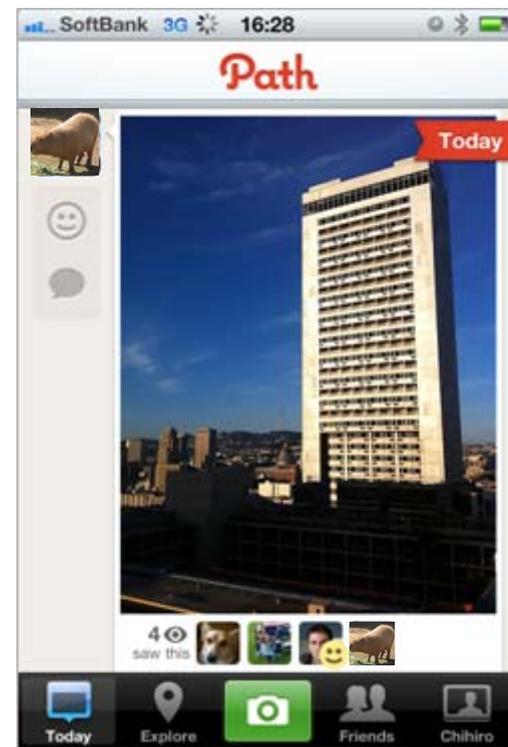
〔スマートフォン市場に向けた、電子書籍ビューワーのマルチデバイス展開を加速〕

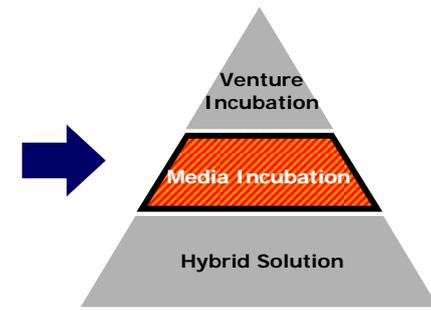
- DGに続き、CCCや小学館等の主力プレーヤーの資本参画で当事業領域でのメインプレーヤーの地位を確立
- ドコモ、ソフトバンク等の主力モバイルキャリアとも業務提携



- 2010年11月にリリース以降、200万の投稿を集める注目のモバイルSNS

- 元Facebookのシニアプラットフォームマネージャー Dave Morin氏と Napster社創業者のShawn Fanning氏らが設立。
- TwitterやFacebookなどのソーシャルネットワークサービスとは一線を画した、「プライベート」なネットワークに着目したパーソナルネットワークサービス。





II

メディア・インキュベーション <To C Solutionの事業群>

➤ ツイッターカンパニー

Twitterの日本での運営支援および事業化

Twitter company

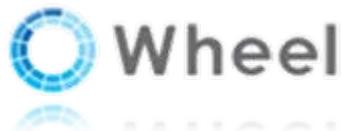
➤ 株式会社CGMマーケティング

Twitter、CGMを活用した広告商品開発、twinavi運営、Twitter企業支援事業



➤ 株式会社ウィール

スマートフォンに特化したソーシャルサービスベースのコンテンツ配信事業



II メディア・インキュベーション <To C Solutionの事業群>

→ ソーシャルメディアインキュベーターとして、Twitterに続く新たなソーシャルメディア事業やスマートフォン向け戦略事業を準備中

- ◆ Twitterのユーザー数は12月に1,290万人を突破。メディアパワーは国内有数のメディアとして確立。
(ネットレイティングス社調べ)
- ◆ CGMマーケティングとして、Twitterのマネタイズは順調に取り組みが進むものの、9月中旬からのサイトUI(ユーザーインターフェイス)のリニューアルにともない、広告販売枠が一時的に減少。
- ◆ hootsuiteとの業務提携/Pathへの出資をはじめ、ソーシャルメディア準備室や新設の戦略事業会社(株)ウィールにおいて、Twitterに続くソーシャルメディア事業を準備中。
※ 尚、(株)DGモバイルは、電子書籍事業への参入に伴う事業再編の為、3Qで事業を休止予定

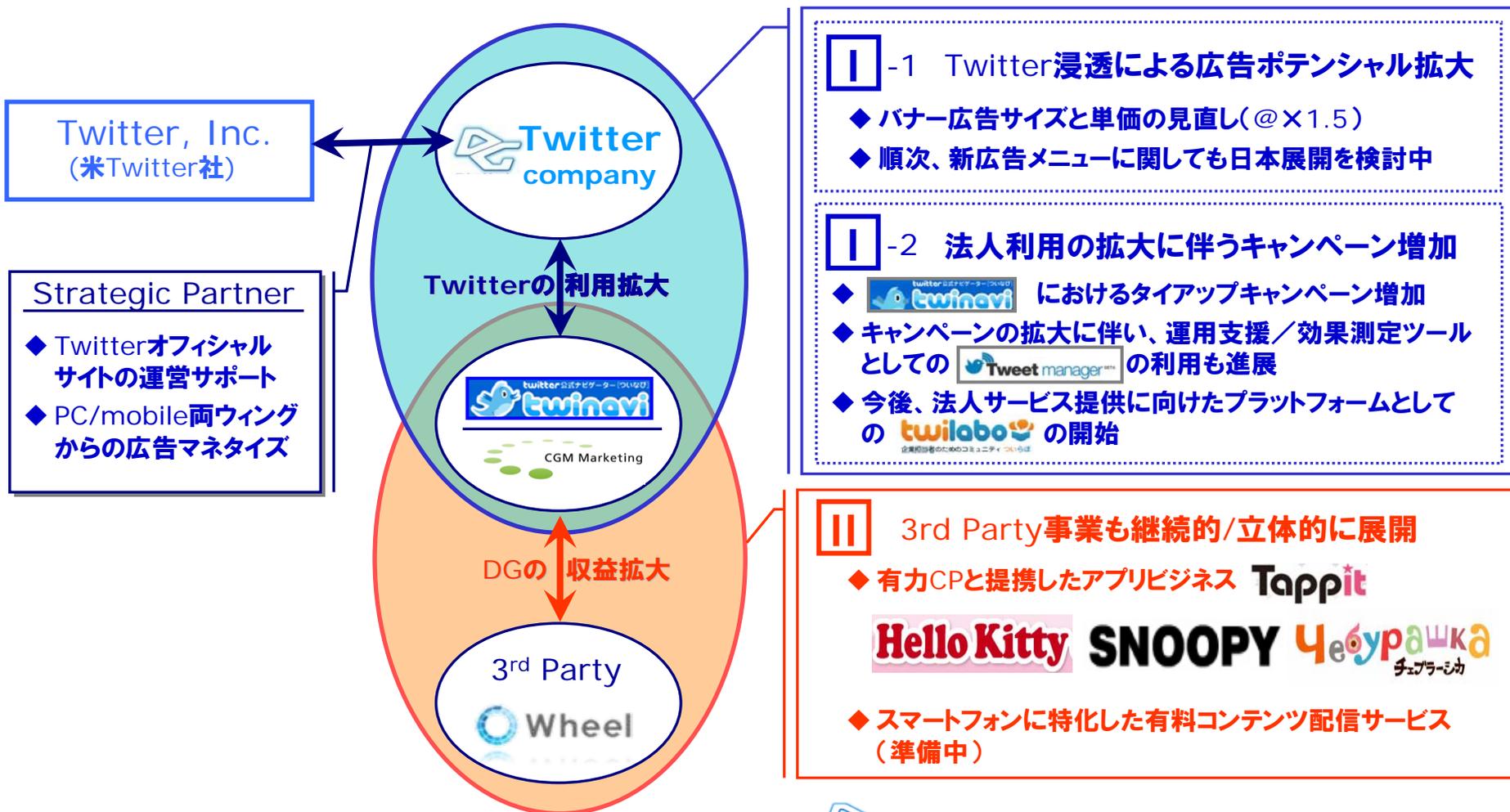
〈連結対象企業〉	〈設立/子会社化〉	〈出資比率〉	〈特徴〉
-1) > Twitterカンパニー	09.11	社内カンパニー	ミニブログサービス「Twitter」の日本での運営支援
-2) > CGMマーケティング	06. 8/06. 8	74%	ブログ/Twitter等を活用したマーケティング事業の推進
-3) > ウィール	11.12/11.12	100%	スマートフォンに特化したソーシャルサービスベースのコンテンツ配信

〈持分法適用会社〉 *2010年6月期~

> カカクコム 97.12/02. 6 20.2% 価格比較サイト『価格.com』の運営

Twitter公式サイト・公式ナビゲーションサイト／3rd Partyの両ウイングで展開
 ～「日本での Twitter ビジネスの ECO SYSTEM 確立」の実践～

今後利用拡大フェーズから収益拡大フェーズへカ点のシフト



I-1 Twitter浸透による広告ポテンシャル拡大

- ◆ バナー広告サイズと単価の見直し(@×1.5)
- ◆ 順次、新広告メニューについても日本展開を検討中

I-2 法人利用の拡大に伴うキャンペーン増加

- ◆ **twinevi** におけるタイアップキャンペーン増加
- ◆ キャンペーンの拡大に伴い、運用支援／効果測定ツールとしての **Tweet manager** の利用も進展
- ◆ 今後、法人サービス提供に向けたプラットフォームとしての **twilobo** の開始

II 3rd Party事業も継続的/立体的に展開

- ◆ 有力CPと提携したアプリビジネス **Tappit**
- Hello Kitty SNOOPY Чебырашка** (チュブラシカ)
- ◆ スマートフォンに特化した有料コンテンツ配信サービス (準備中)

Twitter company (デジタルガレージ ツイッターカンパニー)

■ 2011年 6月上旬期 ハイライト

◆9月15日より大幅なリニューアルを実施

外部サイトに移動することなくTwitterサイト上で情報を取得可能なインターフェースにリニューアル。新UIの導入に伴い米国で実験中の新タイプの広告商品を投入準備中。

◆社会インフラ化するTwitter

ネットメディアとの連携に留まらず、マスメディアとの連携が増加。大晦日にはNHK紅白歌合戦で全世界での放送通信連携を実現。

◆ユーザー利用の促進 (ネットレイティングス調べ)

- ・ 公式PCユーザーは473万UU(1月)から1290万UU(12月)と1年間で約2.7倍の急成長
- ・ 同様に公式携帯ユーザーは約8.3倍の急成長

◆アクティビティの向上

大晦日から元旦にかけて1秒間当りのTweet数でワールドカップの3,283を上回る6,939TPSの世界最高記録を更新

NHK紅白歌合戦での活用



12月16日よりNTTドコモ ドコモマーケットにてアプリ配布



Twitterの更なる利用促進と、収益拡大を目標に設定

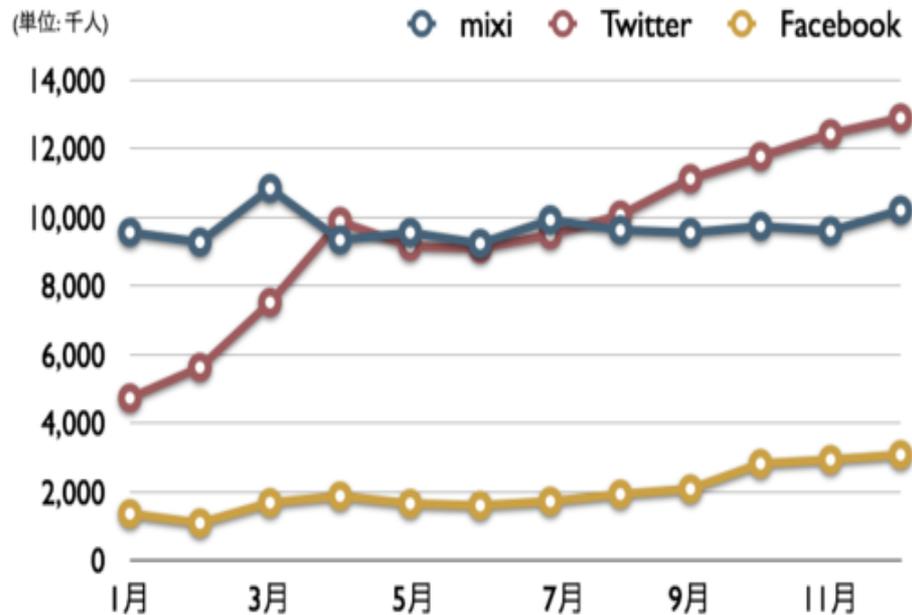
中長期戦略

- ◆普及・拡大フェーズから本格的な収益化ステージへシフト。
米国で先行する広告商品の日本展開と日本独自商品の開発支援を実施。

訪問者数推移

Twitterユニークユーザーは12月に1,290万人を突破。

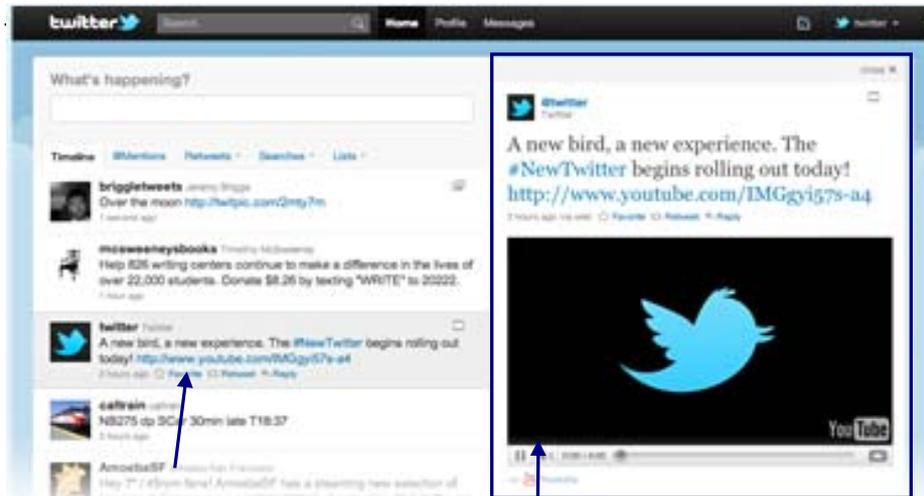
■ mixi, Twitter, Facebook 訪問者数推移 by Nielsen Netview



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
mixi	9,567	9,281	10,847	9,344	9,559	9,242	9,930	9,632	9,557	9,744	9,608	10,214
Twitter	4,732	5,627	7,522	9,882	9,157	9,100	9,496	10,069	11,129	11,778	12,444	12,901
Facebook	1,356	1,084	1,679	1,873	1,653	1,596	1,719	1,928	2,080	2,819	2,934	3,077

リニューアル概要

2010年9月15日に大幅なリニューアルを実施



ツイートをクリックすると
右側に詳細ペイン表示

詳細ペイン上では
YouTube flickr vimeo twitpic
などのサービスをペイン上で表示。

Ping iTunes連携では楽曲やアルバム
を確認することや、そのまま音楽
をプレビュー可能。

米国で実験中の新タイプの広告商品

◆Promoted Tweet

検索結果ページ一番上に企業Tweetを表示

◆Promoted Trend

話題のキーワード掲載

◆Promoted Account

類似フォロワーへの掲載

■ 2011年 6月上旬期 ハイライト

継続してTwitterのマネタイズを実施しつつ、周辺事業でも企業／個人の更なる活用をサポート

Twitter 公式PC/モバイル広告事業

- ◆ 新UIに導入に伴いバナーサイズを変更し広告効果の向上を見込む中、広告単価をUP。
- ◆ モバイル広告は、8月より新フォーマットでの広告販売開始。PC広告は、新広告メニュー準備中。



- ◆ 企業のTwitter活用が定着し、企業向けサービスのニーズが拡大。
 - Twinavi 企業アカウント登録 : 約6,500社
 - 運用&マーケティング支援ASP“Tweetmanager” : 累計約70社
 - 企業担当者向けコミュニティ“twilabo” (2010年10月～) : 登録社数約200社



- ◆ Tree(フォロワーサーチツール)や着せ替えアイコンなど、C向けサービスを拡充。また、ぴあやエイベックス等とのエンタメコンテンツキープレイヤーと連携し更なるサービスレベルの向上とユニークユーザーの拡大を目指す。

新たな法人サービスへの展開と合わせて、C向けサービスの強化

中長期戦略

- ◆ twilaboを中心に、企業のTwitter利用を支援し、新サービスの早期拡大を推進
- ◆ Twinaviをソーシャルプラットフォーム化し、C向け収益モデル導入を検討

■ 2011年 6月上旬期 ハイライト

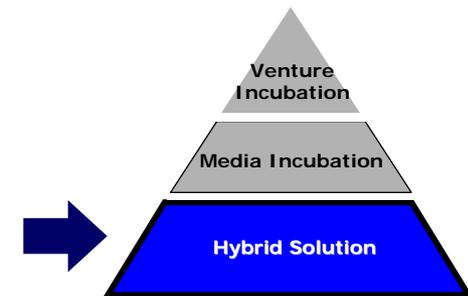
- ◆既存のモバイル関連事業は、電子書籍事業会社メディアドゥへの出資を契機に再編
本格的な電子書籍事業の広がりに合わせて、自社で取り組んできた従来型携帯端末向け公式サイト事業（書籍、動画）を整理/再編。
- ◆スマートフォンに特化した新事業にドメインシフト
アンドロイド携帯が本格普及フェーズに入ったことに合わせて、
 - Twitter等のSocial Mediaをプラットフォームとする
 - 有料コンテンツ(写真/動画/電子書籍等)配信サービス等の新規事業を開発中。



スマートフォンとソーシャルサービスをプラットフォームとするサービスプロバイダへ

中長期戦略

- ◆Twitterに加え、当社グループが関与するソーシャルサービスとの接続
- ◆スマートフォンに加え、タブレット端末、テレビ等スマートデバイス展開



Ⅲ

ハイブリッド・ソリューション <To B Solutionの事業群>

➤ ディージェー・アンド・アイベックス カンパニー

マーケティングプロモーション支援、メディア構築およびWebソリューション提供



➤ イーコンテキスト カンパニー

ECビジネス等における決済プラットフォーム事業等



Ⅲ ハイブリッド・ソリューション <To B Solutionの事業群>

➡ 「Hybrid Solution Partner」としての事業が好調に推移

- ◆ ソリューション事業においては、従来の受託型ビジネスに加えメディア型の収穫逓増ビジネスの構築が順調に進み、収益基盤の底上げが実現されつつある。
<ポイントモール／Bird Fish等>
- ◆ 決済事業においては、既存の決済事業の伸びに加え、価格.comとの共同事業「 安心支払い」サービスを開始し、徐々に取引規模が拡大している。

<連結対象企業>

<設立/子会社化>

<特徴>

➤ デジタルガレージ

- イーコンテクストカンパニー
- DG&Ibexカンパニー

95. 8

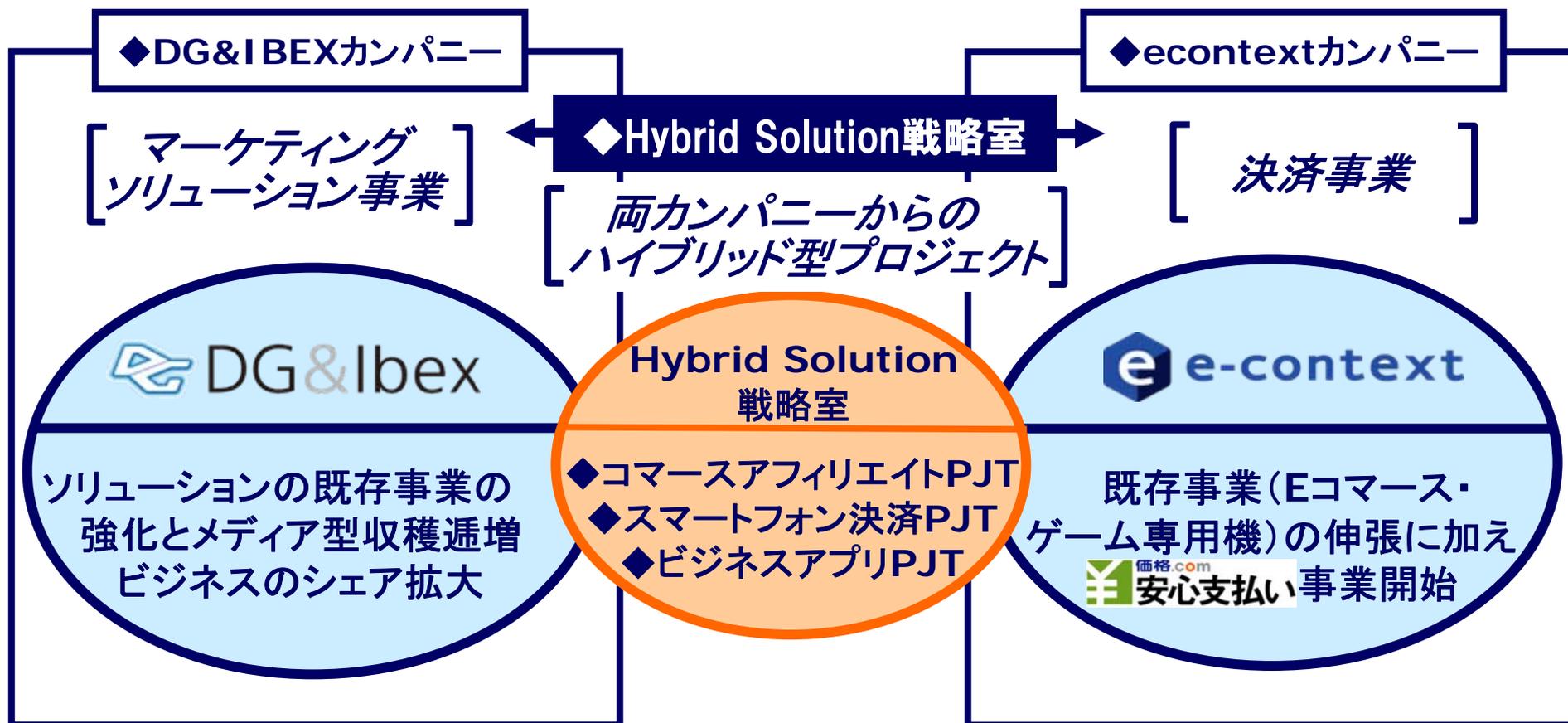
00. 5/08.10 DGと合併
83. 9/08.10 DGと合併

グループホールディング機能

ECにおける決済/物流プラットフォーム提供
「売る」ための次世代型ソリューションを提供

新組織でのB向けソリューション事業と決済事業の構造転換が進み業績好調

各カンパニーの独自事業領域とハイブリッド領域を選別し、事業の推進速度を加速



DG&Ibex (デジタルガレージ ディージー・アンド・アイベックス カンパニー)

■ 2011年 6月上旬期 ハイライト

◆ 既存の受託型事業も順調に拡大

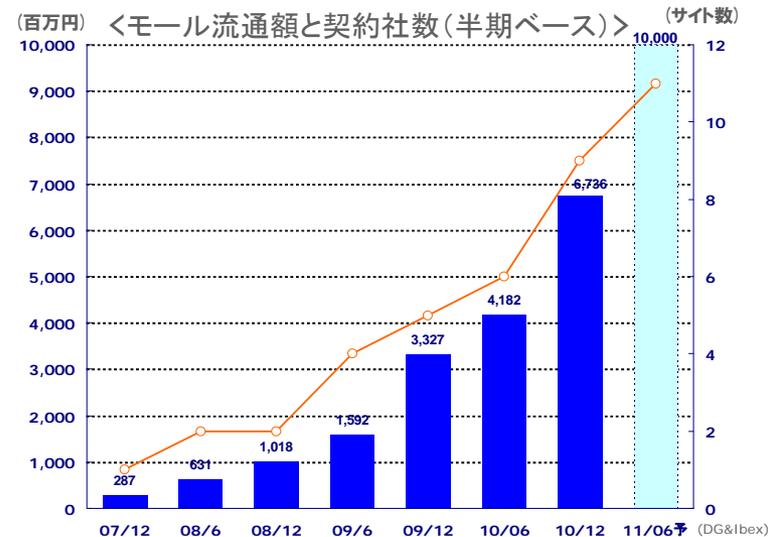
DGのソーシャルメディアに対する強み／ノウハウの深さを他社との差別化要因としつつ、既存のサービスとの融合を図ることで、売上拡大を目指す。

- ⇒ 総合プロモーション事業、新規大型クライアント獲得もあり前年同期比売上131%と好調
- ⇒ ウェブマーケティング領域、金融・人材業界復調もあり、前年同期比売上159%と好調

◆ メディア型／ハイブリッドソリューション型事業へのシフトも実現

高い収益率を実現するために、収穫逡増的な事業を獲得するという方向性に対して、順調に成果を上げる。

- ⇒ ポイントモール事業、モール流通量6,736百万円 (前期比202%)と大幅増加
- ⇒ 10月  (バードフィッシュ)本格提供開始



ハイブリッド・ソリューションパートナーとして本格的ビジネスステージへ

- ◆ ソーシャルメディアを活用した企業向けソリューションパッケージの開発を加速
- ◆ 今後も受託型ビジネスに加え、メディア型ビジネスを加えることにより、収益基盤を更に強化

中長期戦略

◆ポイントモール

顧客情報保有企業のポイントプログラムと連動した
アフィリエイトモールの構築事業

- ・モールの対象会員数が約5,465万人から8,565万人に拡大
- ・主力カード会社9サイトに導入、下期2サイト増加予定。
- ・更に、2010/12月期大型契約サイト導入に伴い、下期以降流通量大幅増加予定。**国内最大規模のポイントモールビジネスに成長。**



◆Bird Fish (http://birdfish.jp)



Twitterに代表される“つぶやき”スタイルのミニブログを企業内・
組織内でのナレッジ共有に最適化したASPサービス

- ・10月から本格提供開始
月額10万円(～700人)、20万円(～3,000人)の有料サービスを開始
- ・1月、IIJとクラウド事業と業務提携をし、春以降にIIJ GIO
サイボウズガールーンSaaSに組み込み予定
- ・早期に有料100社導入に向けて試験導入中



<2011年 6月上旬の実績>

提携サイト数

38,561サイト
(前年同期比) **126%**

取扱件数

752万件
(前年同期比) **112%**

取扱高

554億円
(前年同期比) **109%**

■ 2011年 6月上旬ハイライト

- ▼ 10年 8月 カカコムとの共同事業「価格.com安心支払い」サービス共同事業契約を締結し11月にサービス開始
- ▼ 10年 9月 ビックカメラに決済システム提供開始
ビックカメラ.comでコンビニ・ネットバンクの支払方法が拡大
- ▼ その他 6月24日に発売されたXBOX モンスターハンターオンラインやプレイステーションネットワークチケット等のゲーム課金による収益拡大

「価格.com安心支払い」サービス開始



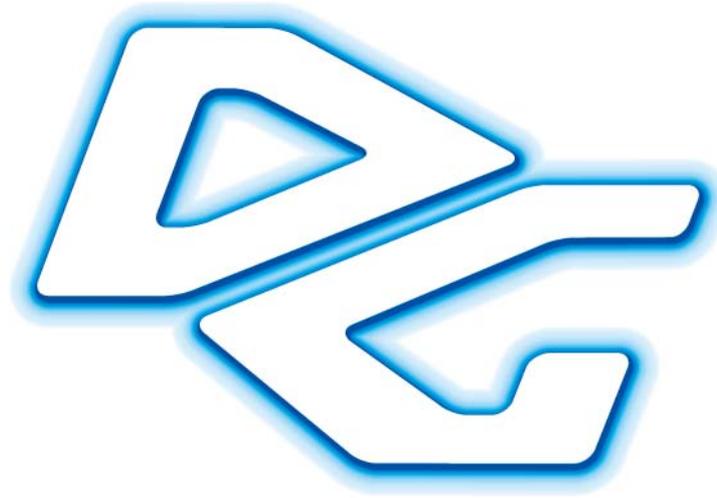
6月末には対象流通規模の約20%への導入を目指し、**100社**の採用を見込む

概況

- イーコマース市場に加えてデジタルコンテンツ市場拡大により取扱件数が拡大
- 前期から注力しているクレジットカードのデータ処理事業が拡大し、月間処理は100万件突破

今後の注力分野

- 「価格.com安心支払い」をベースに更に安心安全にネットショッピングが出来る環境を整備
- スマートフォンに対応した新決済を検討



Digital Garage

本日ご説明申し上げた資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在での弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。